



193

セントラル愛知交響楽団



定期演奏会



第193回 発売日：一般10/5 [会員先行 10/3.4]

巨匠 小松長生登場 ロマンあふれる名曲集

メンデルスゾーンの秀作「宗教改革」定期初登場 荒井結のチェロはロマンの香りいっぱい

2022.11/25 [金] 開場 17:45 / 開演 18:45

指揮 / 小松長生 (桂冠指揮者) チェロ / 荒井結*

- ◆ シューマン：交響曲第2番 ◆ チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲*
- ◆ メンデルスゾーン：交響曲第5番「宗教改革」



第194回 発売日：一般11/16 [会員先行 11/14.15]

しらかわホールに響き渡るワーグナーの世界

ロマン派の革命児ワーグナーと、ワーグナーの崇拜者シベリウス、ドヴォルザークの管弦楽の歌

2023.1/13 [金] 開場 17:45 / 開演 18:45 (18:25~ プレトークあり)

指揮 / 角田鋼亮 (常任指揮者)

- ◆ ワーグナー：「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より「第1幕への前奏曲」
- ◆ ワーグナー：ジークフリート牧歌 ◆ ドヴォルザーク：交響詩「英雄の歌」
- ◆ シベリウス：交響詩「タピオラ」

三井住友海上 しらかわホール TEL052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15 (地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

チケット料金/全席指定

プラチナ席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 / U25席1,000円

※未就学児入場不可 [U25は公演日に25歳以下対象、要身分証明書、座席指定不可 / 指定の場合は一般価格の半額、当回事務局のみの取扱い]

チケット取扱い ●セントラル愛知交響楽団 (郵送サービス有) ●愛知芸術文化センタープレイガイド TEL052-972-0430
 ●しらかわホールチケットセンター ●チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
 TEL052-222-7117 11/25(Pコード212-134) 1/13(Pコード212-137)

※やむを得ない事情で公演の中止または出演者・演奏曲目・曲順等が変更になる場合がございますのでご了承ください。
 ※当団定期会員・賛助会員・リスナー会員様は会員先行発売日のご購入・会員割引価格でのご購入が可能です。[当回事務局のみの取扱い]

定期演奏会イベント

■第193回	11/23(水・祝)	10:30~11:20 公開講座	12:00~13:00 公開リハーサル	会場/名古屋文理大学文化フォーラム
■第194回	2023.1/12(木)	10:30~11:20 公開講座	12:00~13:00 公開リハーサル	TEL0587-24-5111 入場無料・先着200名



194

お問い合わせ・チケットのお申し込み

セントラル愛知交響楽団

TEL052-581-3851 <http://www.caso.jp>
 (10:00~17:30/土日祝休) チケットはホームページからお申し込み頂けます。

主催/公益社団法人セントラル愛知交響楽団 共催/中日新聞社
 後援/愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・FM@AICHI
 協賛/三井住友海上・名古屋市美術館
 助成/文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業)
 独立行政法人日本芸術文化振興会



指揮 小松長生 (桂冠指揮者) (第193回)

Chospei Komatsu / Conductor

福井県生まれ。東京芸大附属音楽高校入学辞退後、東京大学美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科卒。エクソン指揮者コンクール優勝。バッファロー管エクソン派遣指揮者、ポルティモア響アソシエート、キッチナー・ウォーター交響楽団及びカナダ室内アンサンブル音楽監督、リビウ国立歌劇場首席客演指揮者、武生(たけふ)国際音楽祭音楽監督、東京フィル正指揮者等を経て、現在コストリカ国立交響楽団桂冠指揮者及び、セントラル愛知交響楽団桂冠指揮者。これまでにモンリオール響、ケルン放送響、プラハ放送響、北ドイツフィル、ボリショイ劇場、キエフ国立オペラ、ソウルフィル、香港フィル、モスクワ放送響、『NHKららら クラシック』、『題名のない音楽会』、『東急ジルベスターコンサート』、TBS『砂の器』(千住明 作曲、羽田健太郎/日本フィル)、ベルリン・フィルハーモニー創立50周年記念日独第九演奏会、トヨタ・レクサス用マーク・レビンソン搭載10周年記念CD(新日本フィル)などを指揮。自作の『新福井県民歌』を御前指揮(2018年9月)。著書に『リーダーシップは『第九』に学べ』(日本経済新聞出版社)他。音楽芸術学博士。

チェロ 荒井結 (第193回)

Yui Arai / Cello

福井県福井市出身。6歳よりスズキ・メソッドでチェロを学ぶ。中学卒業後渡米、Idyllwild Arts Academy(米カリフォルニア)に留学。2003年、金沢市フレッシュ・アーティストコンサートオーディションにてグランプリ受賞。同年秋より、ドイツ国立ハンブルグ音楽大学に留学。2005年石川ミュージックアカデミー賞を受賞、翌年アスペン音楽祭に奨学生として参加。2008、09、12年にはPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)に参加。小淵沢リゾナーレ音楽祭2012に出演。その他数々のマスタークラスを受講しソロの研鑽を積む。2006年、北陸登竜門オーディションに合格。2008年、岩城宏之音楽賞受賞、プラームス国際コンクール(オーストリア)チェロ部門第2位入賞。

平成24年度福井県文化奨励賞受賞。これまでに、オーケストラアンサンブル金沢、セントラル愛知交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団と共演し好評を博す。現在ソロ、室内楽を中心に活動している。東京チェロアンサンブルメンバー。(財)福井県文化振興事業団主宰「福井ジュニア弦楽アンサンブル」にて講師。福井大学教育学部音楽科非常勤講師。これまでに参納純三、John Walz、Wolfgang Mehlhornの各氏に師事。

指揮 角田鋼亮 (常任指揮者) (第194回)

Kozuke Tsunoda / Conductor

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。2015年より、セントラル愛知交響楽団の指揮者に就任。2016年、セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会(シベリウス&山田耕作作品)が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2019年4月より、セントラル愛知交響楽団常任指揮者に就任。仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者のポジションを務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓けている。2016-2020年、大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。

2022-2023シーズンのハイライトとしては、セントラル愛知交響楽団「ブルックナー:交響曲第5番」「マラー:大地の歌(室内オーケストラ編曲版)」、愛知県芸術劇場「モーツァルト:パステイアンとパステイエンヌ」、京都市交響楽団「プラームス:ドイツ・レクイエム」、大阪フィルハーモニー交響楽団「ベートーヴェン:ミサ・ソレムニス」等があげられる。

<http://kosuketsunoda.com>

セントラル愛知交響楽団

Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2022年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来、松川智哉を迎える。定期演奏会、コンツェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。



Twitter



Instagram



Facebook



感染症対策ご協力をお願い

■チケット購入時にご登録頂く個人情報は会場内で感染者が出た場合、保健所等の指導のもとに提供する場合があります。ご了承ください。

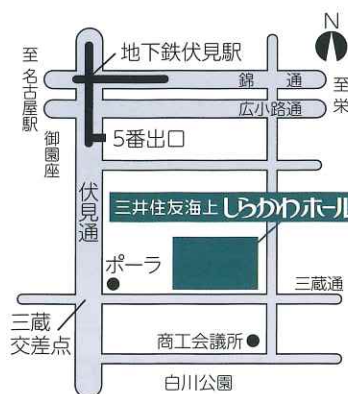
■発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。

■会場内でのマスク着用・検温・手指消毒にご協力ください。

■出演者への贈り物・面会はご遠慮ください。

※2022年7月現在の対策です。変更となる場合があります。

会場アクセス



※駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。

客席のご案内

